

第3回 嘉麻市嘉穂地域整備協議会（会議要録）

- ◆協議会の名称 第3回嘉麻市嘉穂地域整備協議会
- ◆開催日時 平成29年8月18日（金） 19時00分～20時30分
- ◆開催場所 嘉穂庁舎2階 第1会議室
- ◆公開又は非公開の別 公開
- ◆非公開の理由 （会議を非公開とした理由）
- ◆出席者
（委員）
田中 穆会長 豊福 眸子副会長 井原 徹 大屋 瑞枝 青柳 剛太郎
寺田 秋雄 松村 一弘 安河内 隆 縄田 洋明 縄田 緑
浅田 美千代 櫛 悦子
※欠席委員 0人
（事務局）
地域活性推進課 小林 純一 橋垣 康秀 柴田 英樹
山口 宏彰 古道 亮司 大谷 亜季 前田 颯汰（インターシッパ生）
（関係者）
嘉穂庁舎施設及び大隈小学校跡地利活用専門部会長 石坂 禎久（管財課長）
嘉穂庁舎施設及び大隈小学校跡地利活用専門副部会長 伊藤 喜浩（嘉穂総合窓口課長）
（委託業者）
域整備基本計画策定業務受託業者 株式会社建設技術研究所 桂 宮崎
- ◆傍聴人数 1人

◆議題及び協議の内容

1 会長あいさつ

第3回の協議会にご参加いただきありがとうございます。将来の嘉穂地区の発展のために意見交換をしましょう。

2 報告

(1) **資料6**第2回 嘉麻市地域整備協議会合同視察について

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見など》

・特になし

(2) **資料7**まちづくりの将来像に関する市民説明会について

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見など》

- ・（委員）市民説明会の全体の参加者数は何名か。
- ⇒（事務局）179名。
- ・（委員）嘉麻市の人口は。
- ⇒（事務局）大体3万9千。
- ・（委員）参加率は。
- ⇒（事務局）0.45%。
- ・（委員）低い数値だが参加率の感想を聞きたい。市は何%を見込んでたのか。市民に浸透してないのではないか。
- ⇒（事務局）市としては様々なツールを使ったが、昨年度実施したワークショップ等の関係も考えられ参加人数が少なかったのではないかと考えられる。
- ・（委員）市民が何回も行きたいと思えるような施策をもっと考えるべきではないか。
- ・（委員）市民説明会等は本来、回数を重ねるごとに参加人数は増加するはずが減少してるのは何故か知りたい。
- ⇒（事務局）これまで開催してきた内容とは、説明内容が異なり参加人数が見込みにくかったが今後、魅力ある説明会等を工夫していきたい。
- ・（委員）今後、説明会等を開催する際は多くの市民参加を見込める話題作りをして欲しい。

3 議事

- ・嘉麻市庁舎課題に関する基本計画（骨子案）について
- ・嘉穂資料編について
- ・ワークショップの結果について
- ・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見など》

- ・（委員）支所の設置箇所を4つに絞っているが誰の案かを知りたい。
- ⇒（事務局）地域整備の骨子案として正式に市が示した内容だが27年度の審議会で各地域の市民の意見を聞きたいとの答申を受け、この協議会がある。支所の設置箇所については検討して欲しい。
- ・（委員）この協議会の意見を尊重するということがいいのか。
- ⇒（事務局）協議会での答申を最大限尊重し、支所の設置箇所は確定ではない。
- ・（委員）将来、負の遺産とならないよう、支所は夢サイトかほ内に置いたらどうか。小学校、夢サイトかほを建設しているので浸水区域の該当との記載はおかしいのではないか。
- ⇒（事務局）小学校建設時は審議会の中で、浸水想定区域等に関する議論も重ねた結果、一定の盛土をして建設した。また記載内容については今後気を付けたい。
- ・（委員）PFI、PPPとは何か。
- ⇒（事務局）骨子案に書いてあり、PFIとは民間の資金を活用し、公共施設等の建設・維持管理・運営等を同一水準のサービスをより安くする。もしくは同一価格で上質のサービスを提供する手法。PPPは同様の内容ではあるが、民間業者が設計の段階から事業に参加する手法となっている。
- ・（委員）PFIとは民間の資金を活用して嘉穂庁舎の建設や嘉穂地域の活性化をするということか。

- ⇒（事務局）PFI、PPPについては事務局でこういった活用ができるのか研究中有る。
- ・（委員）PFIは業務の委託ではなく資本や建設の委託であることを履き違えないようにするにはいけない。指定管理者ということだろう。
- ⇒（事務局）業務委託は玉名市のとった民間に業務の一部を委託する方法である。PFI、PPPは土地の利活用の考え方で、定期借地権で経営してもらいやり方もある。

(1) **資料8** 諮問について

- ① 嘉穂地域の地域特性をいかした地域整備のあり方について
- ② 嘉穂地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方について

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見など》

- ・（委員）活性化について、市として方向性等あればお聞きしたい。
- ⇒（事務局）総合計画の課題として人口減少社会に対応していくことが挙げられる。地域毎に整備の方向性を定め、活性化を図りたい。嘉穂地域においては観光・定住促進の拠点として整備していく方向性を持っている。
- ・（会長）諮問の主旨として地域住民の方の意見をまず聞く姿勢である。
 - ・（委員）嘉穂の特色、特産物を活かし、活性化につなげたらどうか。また他と違ったことで人を呼び込むべきではないか。
 - ・（会長）お寺やお宮はあるが、それだけでお金を落としてもらうのは難しい。発想の転換をして意見を出していかないといけない。
 - ・（委員）もう少しある程度の目安を出してもらいたい。
 - ・（委員）課題の時期と内容を示して欲しい。今回のような会議では何も決まらずに終わる可能性がある。
- ⇒（事務局）今日は資料も莫大な量があったため説明させていただいた。議論のポイントを説明しているつもりだったが、次回からより具体的なものを出させていただく。
- ・（委員）充実したこういう会議はあと3回しかできない。4回目に決めるべきことの資料等を前もって送付して欲しい。協議会の委員として嘉穂地区がよりよい未来像が描けるように努力したい。
 - ・（会長）諮問の内容を理解し、様々な意見を聞きたい
 - ・（委員）この会議の中で最終的に決めることは、諮問に対する答申である。例えば支所のあり方や設置場所。または運営について。何について議論したのかということをはっきりさせたほうが早いと思う。その辺を絞って会議を充実させていってはどうか。
 - ・（委員）嘉穂市の人口の推移。合併後から年々の人口の推移。年齢・男女別推移。（対県平均、対県内市町）合併時から現在までの財政状況。借金や毎年の公債費。財政力指数。経常収支率。新庁舎と各支所の建設・改築費用。税金収入。今後の財政状況の資料要求をお願いしたい。（高齢化率も後で要求）
- ⇒（事務局）次回準備させていただく。
- ・（委員）市長からの諮問に対して答える義務があり、それを充実させた会議にしてはどうか。

4 その他

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。
- 《主な質疑及び意見等》
- ・特になし

次回開催日：平成29年9月15日（金） 19時00分～

閉会 20時30分